

# 4 教科目の履修方法

## 1 総合子ども学科 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	コミュニケーション I		2
	保育と外国語		2
	体育講義	1	
	体育実技		1
	日本語	1	
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理		2
	教育原理	2	
	子ども家庭福祉	2	
	社会福祉	2	
	社会的養護 I		2
	保育の心理学	2	
	子ども家庭支援の心理学		2
	子どもの理解と援助		1
	子どもの保健	2	
	子どもの食と栄養		2
	保育内容総論	1	
	保育内容の理解と方法・音楽遊び I	1	
	保育内容の理解と方法・造形遊び I	1	
	乳児保育 I	2	
子どもの健康と安全		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	子どもと保育	4	
	保育内容の理解と方法・音楽遊び II		1
選 択 科 目	保育の現場活動		4
	教育課程総論		2
	保育に生かすやさしい手芸		1
合 計 単 位 数		21	23
		44	

科 目	コミュニケーション I	講 師	佐藤 めぐみ
授業目標	<p>[授業の目的・ねらい] ・クラスを一つの集団とみなし、集団として成長していく過程を体験学習する。 ・保育者に必要とされるコミュニケーション力を養う。</p> <p>[授業全体の内容の概要] ・コミュニケーション力を高めるために、レクリエーションゲーム、課題解決学習、ロールプレイ、行事企画等、様々な形の学習を体験する。 ・体験を振り返り、考察を深める。</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）] ・自己洞察力を養い、安定した人間関係を築く。 ・コミュニケーション力を身に付ける。</p>		
授 業 の 画	<p>(前期) 1. オリエンテーション (後期) 1. オリエンテーション 2. コミュニケーションゲームプログラム(1) 2. 学校行事の企画(3) 3. 学校生活とクラス活動（入学から卒業まで） 3. 学校行事の企画(4) 4. 自己紹介プログラム（キャリアカード） 4. 学校行事の準備・グループワーク(1) 5. コミュニケーションゲームプログラム(2) 5. 学校行事の準備・グループワーク(2) 6. コミュニケーションゲームプログラムの振り返り 6. 学校行事の準備・グループワーク(3) 7. 自己分析(1) 7. 学校行事の準備・グループワーク(4) 8. 自己分析(2) 8. 行事企画・準備・実践の振り返り 9. 1対1のコミュニケーション 9. コミュニケーションゲームプログラム(3) 10. グループコミュニケーション(1) 10. 先輩から学ぶ保育現場でのコミュニケーション(1) 11. グループコミュニケーション(2) 11. 先輩から学ぶ保育現場でのコミュニケーション(2) 12. 学校行事のガイダンス 12. 保育実習とコミュニケーション(1) 13. 学校行事の企画(1) 13. 保育実習とコミュニケーション(2) 14. 学校行事の企画(2) 14. 保育実習とコミュニケーション(3) 15. 振り返り・夏季休暇・後期の学校生活に向けて 15. 振り返り・進級に向けて</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>（試験やレポートの評価基準など）出席状況、授業態度、提出物等による総合評価</p>		

科 目	保育と外国語	講 師	玉置 充佳
授業目標	<p>英語の歌を覚えて、それをアレンジして児童に教えるようにします。 英語の歌は毎回新しい曲を覚えます。 基本的な英会話と作文が出来るように練習します。</p>		
授 業 の 画	<p>1. 英語で自己紹介 2. 天気、色 3. 月と曜日 4. 食べもの 5. ABCフォニックス 小テスト 6. 右左 7. 形 8. ハロウィン 9. イースター 小テスト 10. バレンタイン 11. 発表の練習 12. グループ発表 13. 小テスト 14. 中国語 15. 韓国語</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>授業での参加、小テスト3回、グループ発表</p>		

科 目	体育講義	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階、身体の仕組み、学習意欲、コミュニケーション力などを講義で学び、実際に子どもに対して指導を行う心構えを身につけることを目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、短大レポート作成について</li> <li>2. 健康の定義、体力について</li> <li>3. 日本人の健康状態について（子どもから高齢者まで）</li> <li>4. 子どもと大人の身体の仕組みの違い</li> <li>5. 子どもの食事・食育、短大レポートⅠ作成</li> <li>6. 短大レポートⅠ提出と短大レポートⅡの説明</li> <li>7. 体力と体力テストについて 短大レポートⅠの返却</li> <li>8. 肥満、生活習慣病</li> <li>9. メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルについて</li> <li>10. 効果的な運動方法（有酸素運動と無酸素運動）</li> <li>11. 短大レポートⅡ提出と形態測定</li> <li>12. 短大レポートⅡ返却</li> <li>13. 短大レポートⅠ・Ⅱの清書 締切</li> <li>14. まとめと定期試験について</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……①短大指定の教科書 ②『健康生活と運動』小笠原正志編 株式会社エスアイエス <b>参考書</b> ……なし		
評 価 の 方 法	短大レポートⅠ・Ⅱ清書提出40%、定期試験60%による総合評価 *短大レポートを2本授業内で完成をさせます。欠席をすると完成をできない場合があるため、欠席をしないこと。		

科 目	体育実技	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階・身体の仕組みと、保育者自身の健康づくりを講義と実技を通して学ぶこと目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など）、短大レポート試験Ⅰについて</li> <li>2. 新体力テスト測定の実施①（握力、立ち幅跳び、上体おこし、長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）</li> <li>3. 短大レポート試験Ⅰの対策</li> <li>4. 形態測定の実施①（身長、体重、体脂肪率、周径囲など）</li> <li>5. 短大レポート試験Ⅰ 授業内受験</li> <li>6. 新体力テスト、形態測定の振返りと短大レポート試験Ⅱについて</li> <li>7. ストレッチ体操とエアロビックダンス</li> <li>8. 短大レポート試験対策</li> <li>9. ストレッチとコアトレーニング</li> <li>10. ヨガ</li> <li>11. サーキットトレーニング</li> <li>12. 新体力テスト測定の実施②（握力、立ち幅跳び、上体おこし、長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）</li> <li>13. 形態測定の実施②（身長、体重、体脂肪率、周径囲など）</li> <li>14. まとめと定期試験について</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……①短大指定の教科書 ②『健康生活と運動』小笠原正志編 株式会社エスアイエス <b>参考書</b> ……なし		
評 価 の 方 法	実技30%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、短大レポート試験受験20%、定期試験50%による総合評価 *実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。 *実技はA71教室で行います。実技時にジャージを着用していない場合は受講させません。		

科 目	日本語	講 師	原 善
授業目標	「児童文学」の併修レポート作成に備えるべく、論理的な文章表現力の基礎を身につけて、課題に正対したレポートの下書きを完成させることを第一の目的にする。あわせて、日本の児童文学の諸問題についての知識を確かなものとするとともに、幼児の言葉の獲得を援助しようとする者として、自身が運用する言葉に対する確かな認識を育ててもらいたい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・レポートの書き方(1)・課題の確認・推奨課題</li> <li>2. レポートの書き方(2)引用の仕方</li> <li>3. 「絵本と幼年童話」課題内容の理解</li> <li>4. 話し言葉と書き言葉の違い</li> <li>5. オノマトペの功罪</li> <li>6. 「絵本と幼年童話」返却レポートの確認</li> <li>7. 「戦争児童文学」課題内容の理解</li> <li>8. 比喩的発想法について</li> <li>9. くらべ読みについて</li> <li>10. 「戦争児童文学」返却レポートの確認</li> <li>11. 児童文学とジェンダー</li> <li>12. 現代児童文学の成立</li> <li>13. 椋鳩十と新見南吉</li> <li>14. 村上春樹の児童文学</li> <li>15. 言葉の力について</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……併修テキスト『アプローチ児童文学』翰林書房 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	レポート、毎回の課題提出、授業への参加度		

科 目	保育原理	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の意義、及び目的について理解する。</li> <li>・ 保育に関する法令及び制度を理解する。</li> <li>・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。</li> <li>・ 保育の思想と歴相的変遷について理解する。</li> <li>・ 保育の現状と今後の課題について理解する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育原理の授業の進め方 保育所の一を知</li> <li>2. 子どもを理解する～(1) 事例を通して</li> <li>3. 子どもを理解する～(2) 絵本の読み聞かせを通して</li> <li>4. 保育所保育指針とは</li> <li>5. 保育所保育指針における基本原則</li> <li>6. 保育における養護・内容</li> <li>7. 保育の目標</li> <li>8. 保育における環境・方法</li> <li>9. 子どもの最善の利益と保育</li> <li>10. 子どもの理解に基づく保育の課程保育の計画及び評価(1) 指導計画の作成と展開</li> <li>11. 子どもの理解に基づく保育の課程保育の計画及び評価(2) 保育の記録と評価</li> <li>12. 諸外国の保育の思想と歴史、子ども観(1)</li> <li>13. 日本の保育の思想と歴史、子ども観(2)</li> <li>14. 保育者の役割と責務</li> <li>15. 保育の現状と課題</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園 教育保育要領』チャイルド社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、授業態度、提出プリント、小テスト等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	相田 まり
授業目標	・「教育」および「保育」と呼ばれる事象について、背景にある歴史や思想、社会状況などを踏まえて検討する。また、授業の中で得た知識や考え方をもとに、日々の保育・教育実践について自分なりに考察できるようになることを目標とする。 ・なお、本授業は大阪芸大との併修科目であるため、レポート作成と筆記試験を念頭に授業を進める（詳細は初回の授業で説明する）。		
授 業 の 画 計	1. イントロダクション 2. 大阪芸大併修レポート対策① 3. 大阪芸大併修レポート対策② 4. 大阪芸大併修レポート対策③ 5. 大阪芸大併修レポート対策④ 6. トピック① インクルーシブ教育について 7. 大阪芸大併修試験対策① 8. 大阪芸大併修試験対策② 9. 大阪芸大併修試験対策③ 10. トピック② 戦時下日本の教育 11. 大阪芸大併修試験対策④ 12. トピック③ 日本の戦後教育 13. トピック④ グローバル社会と教育 14. トピック⑤ 「道徳」の教科化 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……【大阪芸大指定テキスト】田嶋一ほか編（2016）『やさしい教育原理（第3版）』有斐閣（有斐閣アルマ） <b>参考書</b> ……適宜、授業にて提示する。		
評 価 の 方 法	原則として、授業への参加状況ならびにレポートなどから総合的に評価する。詳細は初回の授業にて説明する。		

科 目	子ども家庭福祉	講 師	加藤 直子
授業目標	・子どもを取り巻く現状についての知識を深め、子ども家庭福祉の理念である「子どもの最善の利益」の保障についての基本姿勢を学ぶ。 ・子ども家庭福祉の制度（法体系、関係機関等）への理解を深める。 ・子どもや家庭に対する倫理観を深め、保育者としての専門性を高めていく。		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション、子ども家庭福祉とは、レポートの書き方 2. 子どもを取り巻く現状と「子どもの最善の利益」 3. 子ども家庭福祉の歴史と子どもの権利 4. 子ども家庭福祉の制度（法体系、関係機関） 5. 児童福祉施設 6. 子ども家庭福祉と保育 7. レポート指導① 8. 里親制度 9. 子どもを取り巻く諸問題 10. レポート指導② 11. 地域子育て支援の目的と施策 12. ひとり親家庭への援助 13. 子ども虐待、DVとその防止 14. 母子保健について 15. まとめ「保育者の専門性と家庭、関係機関との連携」、レポート指導		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『新版 よくわかる子ども家庭福祉』ミネルヴァ書房 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表、レポート課題等による総合評価		

科 目	社会福祉	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。</li> <li>・社会福祉の制度や実施体系等について理解する。</li> <li>・社会福祉における相談援助について理解する。</li> <li>・社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。</li> <li>・社会福祉の動向と課題について理解する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉の理念と概念</li> <li>2. 社会福祉の歴史の変遷</li> <li>3. 子ども家庭支援と社会福祉</li> <li>4. 社会福祉の制度と法体系</li> <li>5. 社会福祉行財政と実施機関・専門職</li> <li>6. 社会福祉施設</li> <li>7. 社会保障及び関連制度の概要</li> <li>8. 相談援助の理論</li> <li>9. 相談援助の意義と機能</li> <li>10. 相談援助の対象と過程</li> <li>11. 相談援助の方法と技術</li> <li>12. 情報提供と第三者評価</li> <li>13. 利用者の権利擁護と苦情解決</li> <li>14. 社会福祉の動向と課題</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育士を目指す人の社会福祉』(株)みらい、『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席および授業態度、試験による総合評価		

科 目	社会的養護 I	講 師	高田 俊輔
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的養護とは何かを理解する。</li> <li>・社会的養護の歴史的背景および現状の課題を理解する。</li> <li>・社会的養護の制度や仕組みについて理解する。</li> <li>・児童虐待への理解および社会的養護のもとで生活する子どもへのケアを考える。</li> <li>・児童福祉施設における保育士の意義と役割を考える。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション—社会的養護とは何か—</li> <li>2. 社会的養護に関する社会状況</li> <li>3. 社会的養護の歴史と法整備</li> <li>4. 社会的養護の対象と児童福祉施設の運営管理①</li> <li>5. 社会的養護の対象と児童福祉施設の運営管理②</li> <li>6. 子どもの権利擁護と社会的養護</li> <li>7. 家庭養護と施設養護—家族と同様の養育環境とは何か—</li> <li>8. 社会的養護における実践理論</li> <li>9. 社会的養護におけるケアの実際① 回復を目指したケアについて考える</li> <li>10. 社会的養護におけるケアの実際② パーマネンシーケアについて考える</li> <li>11. 児童福祉と他領域との連携</li> <li>12. 社会的養護に関わる専門職とその理念</li> <li>13. 被措置児童の虐待防止</li> <li>14. 社会的養護の課題と地域福祉</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……指定なし <b>参考書</b> ……資料を配布する。また、適宜、推奨文献を提示する。		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、リアクションペーパー、試験成績による総合評価		

科 目	<b>保育の心理学</b>	講 師	<b>井上 恵理</b>
授業目標	下記4点を授業目標とする。 ・保育士として必要な心理学の知識を習得する ・各領域（運動、知覚・認知、言語、情緒）の発達のメカニズムについて理解する ・人の発達は、他者との関わりの中で展開していくことを具体的に理解する ・子どもの発達を支援するうえで重要な保育士の関わりについて考察する		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 発達と環境(1) 3. 発達と環境(2) 4. 情緒の発達 5. 言語の発達 6. 人間関係の発達 7. 遊びの発達 8. 向社会性の発達 9. 発達障害(1) 10. 発達障害(2) 11. 身体の発達 12. 試験対策(1) 13. 試験対策(2) 14. まとめ 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……併修指定テキスト  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、提出物、試験などによる総合評価		

科 目	<b>子ども家庭支援の心理学</b>	講 師	<b>今泉 岳雄</b>
授業目標	保育者として以下のことを理解する。 1. 生涯発達と初期経験の重要性 2. 子どもの精神保健 3. 家庭の意義と機能 4. 子育て環境を取り巻く社会状況		
授 業 の 画	1. 乳幼児期から学童期にかけての発達特徴 2. 思春期から青年期の発達の特徴 3. 成人期から高齢期の発達の特徴 4. 家族システムと家族発達 5. 親としての養育スタイルの形成過程と世代間伝達 6. 子育て環境の社会状況的变化 7. ライフコースとワーク・ライフ・バランス 8. 多様な子育て家庭への支援 9. 特別な配慮を必要とする家庭への支援 10. 子どもを取り巻く生活環境と心身の健康 11. 子どもの心と健康 12. 障害のある子どもの理解と対応 13. 災害と子ども 14. まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『シードブック 子ども家庭支援の心理学』建帛社  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況により総合評価		

科 目	子どもの理解と援助	講 師	井上 恵理
授業目標	<p>下記5点を授業目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育における「子ども理解」の意義を考える。</li> <li>・子どもを理解するうえで必要となる基礎的な理論や、考え方を習得する。</li> <li>・子どもを理解するための具体的な方法を理解する。</li> <li>・保育現場における子どもの発達支援について理解を深める。</li> <li>・発達の連続性の観点から、子どもの発達支援における保育士の役割について考える。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 保育における子ども理解(1) 子ども理解とは</li> <li>3. 保育における子ども理解(2) 保育者の姿勢</li> <li>4. 保育における子ども理解(3) 保育・指導・援助</li> <li>5. 子どもを理解する視点(1) 子どもの遊びと環境</li> <li>6. 子どもを理解する視点(2) 人的環境としての保育者</li> <li>7. 子どもを理解する視点(3) 子ども同士の関わり</li> <li>8. 子どもを理解する視点(4) つまずきと葛藤</li> <li>9. 子どもを理解する方法(1) 関与しながらの観察</li> <li>10. 子どもを理解する方法(2) 記録</li> <li>11. 子どもの理解に基づく発達援助(1) 個人差の把握と援助</li> <li>12. 子どもの理解に基づく発達援助(2) 障がいのある子どもへの対応</li> <li>13. 子どもの理解に基づく発達援助(3) 連続性のある保育</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特になし</p> <p>参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、提出物、試験などによる総合評価		

科 目	子どもの保健	講 師	大久保 真理子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの発育・発達について理解する。</li> <li>2. 子どもの心身の健康の維持、増進に必要なことは何かについて考え、理解を深める。</li> </ol>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの心身の健康と保健の意義</li> <li>2. 子どもの身体発育</li> <li>3. 子どもの運動機能の発達</li> <li>4. 子どもの生理機能の発達             <ol style="list-style-type: none"> <li>①神経系</li> <li>②循環系</li> <li>③免疫系</li> <li>④その他</li> </ol> </li> <li>5.</li> <li>6.</li> <li>7.</li> <li>8. 子どもの心身の健康と生活             <ol style="list-style-type: none"> <li>①睡眠</li> <li>②排泄</li> <li>③その他</li> </ol> </li> <li>9.</li> <li>10.</li> <li>11. 子どもの健康状態の把握             <ol style="list-style-type: none"> <li>①日常的な健康観察</li> <li>②健康診断等について</li> </ol> </li> <li>12.</li> <li>13. 子どもにみられやすい疾病</li> <li>14. 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題</li> <li>15. まとめ・試験 ※内容、回は授業の進行等により変更があります。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……新基本保育シリーズ⑪『子どもの保健』中央法規</p> <p>参考書……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験結果等を総合して評価します。		



科 目	子どもの食と栄養	講 師	島村 恵子
授業目標	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。		
授 業 の 画	1. 子どもの心身の健康と食生活について 2. 子どもの食生活の現状と課題 3. 栄養素の基礎知識 糖質の代謝と栄養学的意義 4. たんぱく質の代謝と栄養学的意義 5. 脂質の代謝と栄養学的意義 6. ビタミン、ミネラルの代謝と栄養学的意義 7. 日本人の食事摂取基準、食品群について 8. 子どもの発育、発達と栄養について 乳汁期の栄養と食生活 9. 離乳期の栄養と食生活 10. 幼児期の栄養と食生活 11. 幼児期の食生活上の問題 12. 施設における食生活、特別な配慮を要する子どもの栄養と食生活 13. 食育の基本と内容 14. 保育所における食育推進の計画、実施、評価 15. まとめ 試験		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版部 <b>参考書</b> ……その時々参考になるものを紹介		
評価の 方 法	出席、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	佐藤 博美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定子ども園教育・保育要領を知る</li> <li>・ 保育内容の理解と子どものあそびを考える</li> <li>・ 子どもの主体性と子どもの視点から保育を考える</li> <li>・ 5領域の関連性と相互性の保育実践を体験する</li> </ul>		
授 業 の 画	1. 保育の基礎知識 2. 保育内容の理解① 5領域 3. 保育内容の理解② 子どものまなびとあそび 4. 保育内容の理解③ 設定あそびの体験 5. 地域社会の子育て支援① 6. 地域社会の子育て支援② 7. 保育者の役割① 8. 保育者の役割② 9. 模擬保育の実践と検討① 10. 模擬保育の実践と検討② 11. 模擬保育の実践と検討③ 12. 幼、保、認定子ども園と小学校の連携 13. テスト対策 14. テスト 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席状況、授業態度、課題、試験などによる総合評価		

科 目	保育内容の理解と方法・音楽遊び I	講 師	音楽科担当講師
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の現場において生活と遊びの中で様々に用いられる、わらべ歌・手遊び歌・リトミックソング・季節の歌や生活の歌など知っておきたいレパートリーを多角的に実践演習していきます。</li> <li>・ 授業時間の前半・後半を45分ずつに分割し、①音楽リズム（個人レッスン形式）②歌あそび（全体授業）の移動入れ替え制で展開します。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（特に個人レッスンでの注意事項等）</li> <li>2. ①音楽リズム：ピアノ等による個人レッスン ②歌あそび：自分の声を知ろう（呼吸法・発声練習）</li> <li>3. 〃 〃 〃 〃 わらべ歌・手遊び歌・子どもの歌等の演習</li> <li>4. 〃 〃 〃 〃</li> <li>5. 〃 〃 〃 〃</li> <li>6. 〃 〃 〃 〃</li> <li>7. 〃 〃 〃 〃</li> <li>8. 〃 〃 〃 〃</li> <li>9. 〃 〃 〃 〃</li> <li>10. 〃 〃 〃 〃</li> <li>11. 〃 〃 〃 〃</li> <li>12. 〃 〃 〃 〃</li> <li>13. 〃 〃 〃 〃</li> <li>14. 発表曲のリハーサル</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士のためのピアノ入門』（ドレミ出版） 『ポケットいっぱいのおうた』（教育芸術社） <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、実技試験による総合評価		

科 目	保育内容の理解と方法・造形遊び I	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの造形活動について理解し、その基本的知識を学ぶ。</li> <li>・ 絵画的造形製作の意義とその目標について理解する。</li> <li>・ 画材と題材について学習し、その技術を習得する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育における造形表現の意味、造形表現の基礎知識（色彩、画材などの基礎知識）、教材づくりと準備</li> <li>2. クレヨン・クレパスを使って虹色の形を作ろう（指を使って画材の特性を知る）</li> <li>3. 造形表現の描画における発達段階と児童画の特徴を学ぶ（クレヨン・クレパスで体験する）</li> <li>4. 吹き絵（ブロウイング）たらし絵、飛ばし絵（ドリッピング）、泡うつしなどで絵の具あそびをする</li> <li>5. バチック（はじき絵）、油性のクレヨンと水彩絵の具の性質を生かして</li> <li>6. ひっかき絵（スクラッチ）、平面技法の応用</li> <li>7. デカルコマニー、絵の具の軌跡（偶然からできる作品で遊ぶ）</li> <li>8. マーブリング（流し絵）でできた模様の付いた紙を使って作品を作ろう</li> <li>9. 絵肌作りからコラージュへ（準備としての絵肌づくり）</li> <li>10. コラージュ作品の制作</li> <li>11. 動物でキャラクターを作って描こう</li> <li>12. アンパンマンのキャラクターを描けるようになろう（著作権について）</li> <li>13. 野菜で型押し、スタンピング（野菜の切り口など、形の面白いものを見つけてスタンプあそび）</li> <li>14. 点・線を使って描いたものから、何かを見つけて絵に仕上げよう</li> <li>15. 色水あそび（色水を作って光をあてて色の光りあそび）</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『幼児造形の基礎』萌文書林 <b>参考書</b> ……特になし		
評 価 の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	乳児保育 I	講 師	中村 悦子
授業目標	<p>◎0、1、2歳の最も重要な時期を学び理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児保育の意義・目的・歴史・役割を学ぶ。</li> <li>・乳児保育の多様な現状と課題を知る。</li> </ul> <p>◎乳児保育（3歳未満児）の発達、発育、環境、を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園生活24時間を視野に入れた保育、環境、配慮を学ぶ。</li> <li>・3歳未満児の発達を踏まえた保育士の援助、関わり、協働。</li> <li>・「手をかけ」「目をかけ」「言葉かけ」を具体的に学び実践につなげるように学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（授業の進め方、授業態度、etc）</li> <li>2. 乳児保育って何？①</li> <li>3. 乳児保育って何？②</li> <li>4. 乳児保育の基本</li> <li>5. 乳児保育の基本</li> <li>6. 乳児保育の基本</li> <li>7. 乳児のおもちゃを作成</li> <li>8. 0歳児の発達と保育</li> <li>9. 0歳児の発達と保育</li> <li>10. 1歳児の発達と保育</li> <li>11. 1歳児の発達と保育</li> <li>12. 2歳児の発達と保育</li> <li>13. 乳児保育の記録と計画</li> <li>14. 地域社会への子育て支援</li> <li>15. まとめ</li> </ol> <p style="text-align: right;">※内容、回は順不同になることあり</p>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……特に指定なし</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	授業態度重視、提出物、授業内でのテスト、出欠席の総合評価		

科 目	子どもの健康と安全	講 師	大久保 真理子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの健康と安全を守るために必要なことは何かについて考え、理解を深める</li> <li>2. 保育において適切な保健活動を展開するための基礎的な知識及び具体的な方法を身につける</li> </ol>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育環境の整備、衛生管理</li> <li>2. 子どもの事故の特徴と安全対策</li> <li>3. 災害への備え、危機管理</li> <li>4. 子どもがかかりやすい感染症</li> <li>5. 感染症の予防</li> <li>6. 感染症発症時と罹患後の対応</li> <li>7. 発熱時の対応</li> <li>8. その他、体調不良時の対応</li> <li>9. 傷害への対応</li> <li>10. 応急処置</li> <li>11. 救命救急処置</li> <li>12. 3歳未満児への保健的対応</li> <li>13. アレルギー性疾患とその対応</li> <li>14. 保健活動の計画及び評価</li> <li>15. まとめ・試験</li> </ol> <p style="text-align: right;">※内容、回は授業の進行等により変更があります。</p>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……新基本保育シリーズ⑩『子どもの保健と安全』中央法規</p> <p><b>参考書</b>……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験結果等を総合して評価します。		



科 目	保育の現場活動	講 師	佐藤 めぐみ
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの保育現場活動を通して課題・目標を明らかにする。</li> <li>・保育者の意図を意識し、保育現場活動に取り組む。</li> <li>・保育者としての職業意識を養い、高める。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 今までの保育現場での活動を振り返る。</li> <li>3. 保育指針・保育内容の理解・園長先生の講義(1)</li> <li>4. 保育指針・保育内容の理解・園長先生の講義(2)</li> <li>5. 様々な保育形態、保育方針を理解する。</li> <li>6. 保育所見学(1)</li> <li>7. 保育所見学(2)</li> <li>8. 保育所見学の振り返り</li> <li>9. 保育現場での活動に向けてのガイダンス(1)</li> <li>10. 保育現場での活動に向けてのガイダンス(2)</li> <li>11. 保育現場での活動(1)</li> <li>12. 保育現場での活動の振り返り</li> <li>13. 保育現場での活動(2)</li> <li>14. 保育現場での活動(3)</li> <li>15. 現場活動での振り返り</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、提出物等による総合評価		

科 目	教育課程総論	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園および保育所の教育課程や保育の全体的な計画を理解し、自分の言葉で説明できる。</li> <li>・教育・保育課程の歴史的変遷を学ぶことによって、現代の保育を多角的に捉えられる。</li> <li>・保育の計画と展開を学ぶ中で、保育者の役割を考えられる。</li> <li>・レポートとは何かを理解し、レポートを作成するうえでのルールを身につける。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、保育施設とは</li> <li>2. 幼児の教育課程</li> <li>3. 教育課程および全体的な計画と指導計画</li> <li>4. 保育の展開と保育者の役割</li> <li>5. 保育内容とカリキュラムの変遷①明治期～昭和前期</li> <li>6. 保育内容とカリキュラムの変遷②戦後～現代</li> <li>7. これからの保育・教育課程、レポート出題</li> <li>8. 中間まとめ</li> <li>9. 保育内容と指導計画の実際</li> <li>10. 指導計画を書いてみよう①長期計画</li> <li>11. 指導計画を書いてみよう②短期計画</li> <li>12. レポート指導</li> <li>13. レポート指導・保育の評価</li> <li>14. まとめ・試験対策</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……生田貞子／水田聖一編（2010）『保育実践を支える保育内容総論』福村出版 <b>参考書</b> ……厚生労働省（2018）『保育所保育所指針解説書』フレーベル館 文部科学省（2018）『幼稚園教育要領解説』フレーベル館		
評 価 の 方 法	出席（リアクションペーパー）、芸大提出レポート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	保育に生かすやさしい手芸	講 師	酒井 暢子・高田 ちとせ
授業目標	<p>軍手やフェルトなどで簡単に仕上がる作品づくりを通して、糸針仕事の練習をします。玉留めや並縫いなど、手縫いの初歩の段階から説明しますので、針を持つのが不慣れな人も楽しみながら作ることができます。また、作品の生かし方や応用のアイデアもご紹介します。人形の演じ方や遊び方の演目を参考に、自分で作った人形を実際に動かしてみましよう。「これができたら子どもたちと楽しめそう!」という気持ちを原動力に、手芸に親しんでほしいと思っています。</p>		
授 業 の 画 面	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手縫いの基礎①「ひまわりブローチ」制作</li> <li>2. 「10匹こぶた」制作①</li> <li>3. 「10匹こぶた」制作② 演じ方</li> <li>4. 手縫いの基礎②「指かえる」制作①</li> <li>5. 「指かえる」制作② 演じ方</li> <li>6. 「ハンカチ人形」制作①</li> <li>7. 「ハンカチ人形」制作② 演じ方</li> <li>8. 「カップさる」制作①</li> <li>9. 「カップさる」制作② 演じ方</li> <li>10. 「あおむし」制作①</li> <li>11. 「あおむし」制作② 演じ方</li> <li>12. 演技発表①</li> <li>13. 「ミトンくま」制作①</li> <li>14. 「ミトンくま」制作② 演じ方</li> <li>15. 演技発表②</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……特に指定なし 授業時に資料を配布</p> <p><b>参考書</b>……『手ぶくろ人形の部屋』高田千鶴子／著 偕成社／刊</p>		
評 価 の 方 法	<p>受講態度と出席を重視。作品提出、レポート等による総合評価</p>		